

1

部会報告（令和元年度開催分）

教育・子育て部会

区の教育・子育て関連事業の進捗状況及び事業の方向性や、妊娠期からの子育て支援、児童虐待防止対策などについて議論



第1回

区の教育・子育て関連事業の元年度の進捗状況及び2年度事業の方向性について意見交換した。

主なご意見

- ・子どもの勉強を見てあげるような、安心して通える地域の拠点をたくさんつくるのは非常に大切。大学生や時間のある地域の人たちを担い手とし、区が講習会を開いたり、報酬を支払うような事業もあってよい。
- ・スポーツや学習面の支援に加え、芸術や文化、あるいは科学などで子どもの感受性を育む取組ができればよい。
- ・地域での交流が昔に比べ少ない。妊娠の方と出産や育児の経験者がつながる機会やイベントがあれば、虐待減少につながるのではないかと。
- ・子育てに関する各種支援制度について、広く周知できるよう、広報を工夫してはどうか。

第2回

事務局より、妊娠期からの切れ目のない子育て支援、児童虐待防止対策の充実について、本市の取組を説明し、課題や改善策について議論した。

主なご意見

○妊娠期からの切れ目のない支援について

- ・妊婦や育児の状況などについて、身近な人が忙しくて関われなくても、会社の人や友達など周りで知っている人をいかに増やすかが大事だと思う。
- ・子どもの発達相談に自発的に来られる方はいいが、気づく機会のない方もいる。同じ年代の子どもと触れ合えるような機会があってもよい。

○児童虐待防止対策の充実について

- ・地域福祉コーディネーターは、地域によって認知度に差がある。有効に活用できるように社会福祉協議会に協力してもらいたい。
- ・児童虐待は、自分と関係のない特別なことのように思われているかもしれないが、普段からどれだけ子どものことを考えて接しているのか。催しなど、子どもの権利に気付いてもらえる機会があればよい。

1

部会報告（令和元年度開催分）

安心・つながり・地域福祉
部会

都島区地域福祉ビジョン、総合的な相談支援体制の充実事業などについて議論。



第1回

事務局より、平成31年に策定した都島区地域福祉ビジョンについて説明しました。また、いわゆる「8050問題」などの事案に対する総合的な相談支援体制の充実について、議論した。

主なご意見

- ・新しいマンションがどんどん増え、どのように地域コミュニティをつくっていくかが町会の課題だと感じている。
- ・地域コミュニティに対する考え方は世代間で異なっている。新しい概念で地域コミュニティをつくらないと、今の社会に合わないのではないか。
- ・地域コミュニティとは、みんなで顔を「見える化」して声をかけ合い、気にし合うこと。それが防災・防犯、見守りの活動につながっていく。

「8050問題」を抱えている家庭は、知り合いにも何人かいるが、親と子が親密で離れない。支援を受け入れようとしない方に、こちらから声掛けすることも難しい。

第2回
中止

1

部会報告（令和元年度開催分）

まちづくり・魅力部会

魅力発信・創出の取組、
地域及び区の情報発信などについて議論。



第1回

区の魅力発信・創出の取組の課題や改善策について提案を受けた。

主なご意見

- ・魅力発信・創出のターゲットは区内・区外の両方を狙うと難しいので、対象を絞って注力したほうがよい。
- ・区からの情報が流れてくれば見るが、自分から取りには行かない。例えば、店舗情報と併せるなど、情報発信の機会をうまくつuckingていけるとよい。
- ・「教育力向上区宣言」と魅力の活動をリンクさせるのも重要。例えば、地域の歴史、魅力等を自然にまち中で学ぶ機会と、世代を超えてつながれるツールがあってもよい。子どもが地域での体験を積み重ね、それが自信につながったり、まちを魅力に思う、愛着を持つようにつながればよい。
- ・京橋のイオンの跡地は、今後、魅力をつuckingていくのに当たって民間ベースでかなり動いていくので、区としても市としてもコミットしていく中で、地域と一緒に何か魅力をつuckingあげていければよい。

第2回

事務局より、まちの魅力発信や地域活動協議会の活動紹介の取組について、都島区への愛着を測った区民アンケート結果も含めて説明し、課題や改善策の提案を受けた。
また、淀川連絡線跡地の活用計画について報告した。

主なご意見

○魅力発信の取組や改善策について

- ・LINE やInstagramでも発信したら、若い人にも伝わるのでは。
- ・新しい集合住宅の中でのコミュニティはあるかもしれないが、ほかの地域から来られた方はやっぱり愛着というのが少ない。行政がいろいろな手を打っても「地域のつながりがない」ということが出てくるのでは。
- ・区民アンケートでは「地域のつながりが充実している」と感じる人が多いが、同じように感じていない人がどうやってつながるかが課題。

○淀川連絡線跡地の活用計画について

- ・この計画で、区が発展していけばいいが、どういったものが入ってくるかわからない点で、楽しみでもあり気になるところでもある。